

SML 業務可視化サービス

新型コロナウイルス対策支援

テレワークのパソコン操作を可視化

新型コロナウイルス感染防止対策や働き方改革の一環として、
テレワークを導入したい！テレワークを導入しているが！

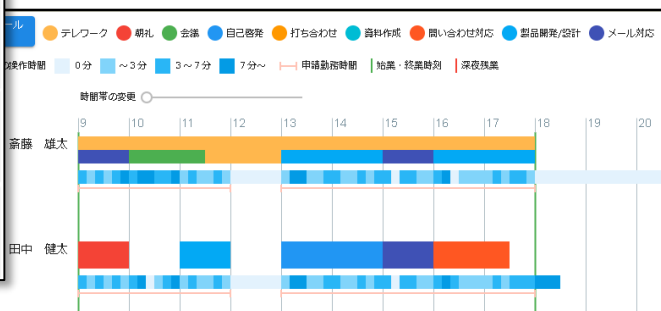
- ① テレワーク中の勤務状況が把握できない
- ② 部下のマネジメントが難しい
- ③ 成果がわかりにくく、適正な評価ができない



・・・そんなお客様に！

SML業務可視化でテレワーク中の業務を可視化

社員の1日のPC利用状況を、**分かりやすくグラフィカル**に可視化し、
テレワーカーの勤務管理をサポートします。



お問い合わせは下記連絡先まで
 ☒ soft@canon-elec.co.jp

Canon
 キヤノン電子株式会社

SML 業務可視化サービス



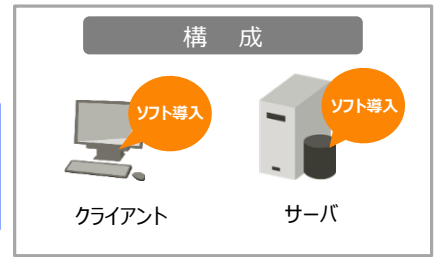
- 残業をなくしたい
- 社員ひとりひとりの働き方を見える化したい

エスエムエル

SML (Security Management with Logging)

【機能】

パソコンの利用状況を見える化！

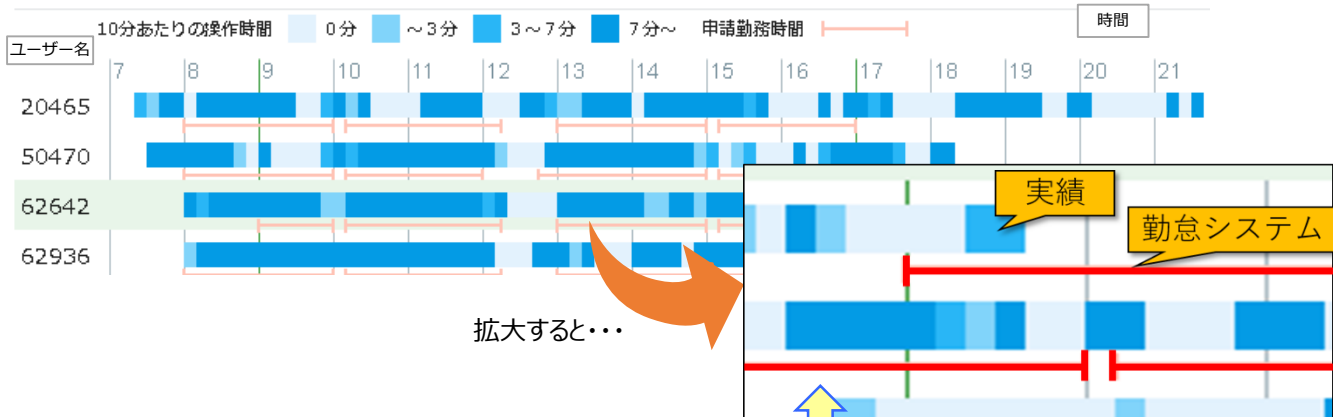


パソコン操作を記録し、利用状況を可視化

2017/09/01

日

< 1~30/106 >



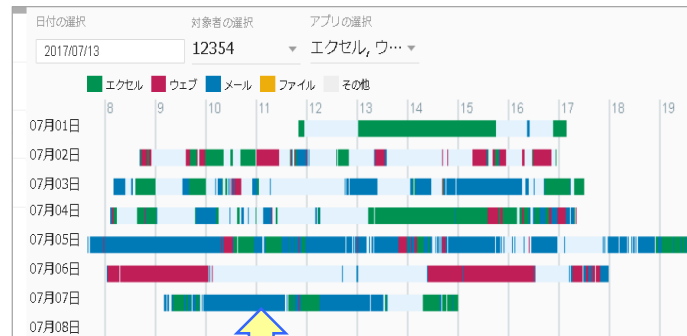
PCの勤務実態と勤怠システムとの乖離が確認可能。サービス残業の抑止へ

アプリケーションの操作状況を集計

アプリケーションの利用内訳



PCの操作内容が一目でわかるタイムライン表示



日々のアプリケーションの利用状況を把握し、働き方の見直しへ

サービスの仕様

🕒 PC操作時間

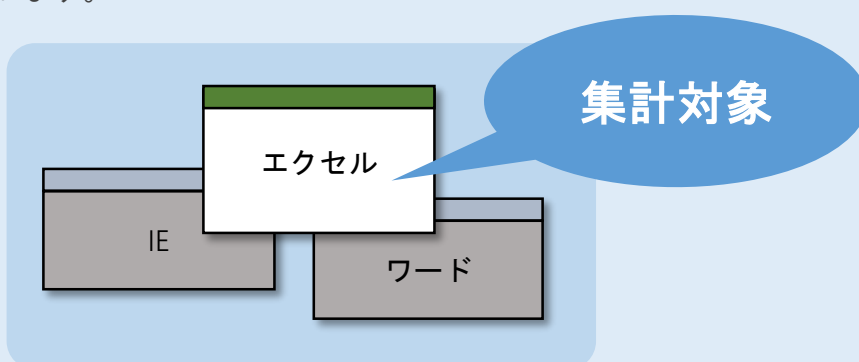
マウスやキーボード操作を行った時間です。以下のような場合は、操作時間に含まれません。

- 電源を付けっ放しにして、会議、トイレ、帰宅するなど席を離れた場合
- スクリーンセーバーを起動している場合
- スリープモードの場合



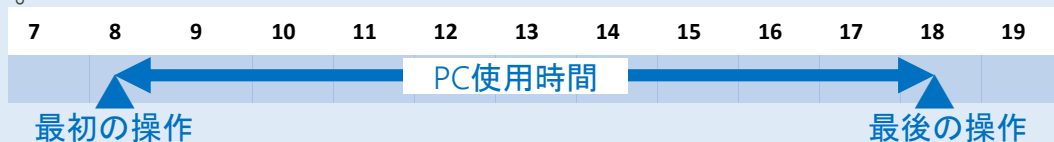
🕒 アプリケーション操作時間

複数のアプリケーションを起動している場合、実際に操作している最前面のアプリのみを正確に集計対象としています。



🕒 PC使用時間

一日のPC使用時間は、最初にマウス・キーボード操作があった時刻から、最後に操作があった時刻の差となります。電源をつければなしでPCを使う場合でも、正確な使用時間を集計できます。



立場に応じて それぞれの視点で活用

SML 業務可視化サービスは組織設定によって閲覧範囲を柔軟に変更できます。
部下や自分自身、全社の情報を確認できます。



1. 人事

在宅勤務でも
集中しているな

- a. 長時間労働の抑制
- b. 申告と実績の乖離確認
- c. 在宅勤務者の評価



2. 組織管理者

Bさんの
帰りが遅いな...

- a. 部下の労務管理
- b. 在宅勤務の把握
- c. 業務配分の適正化



3. 従業員本人

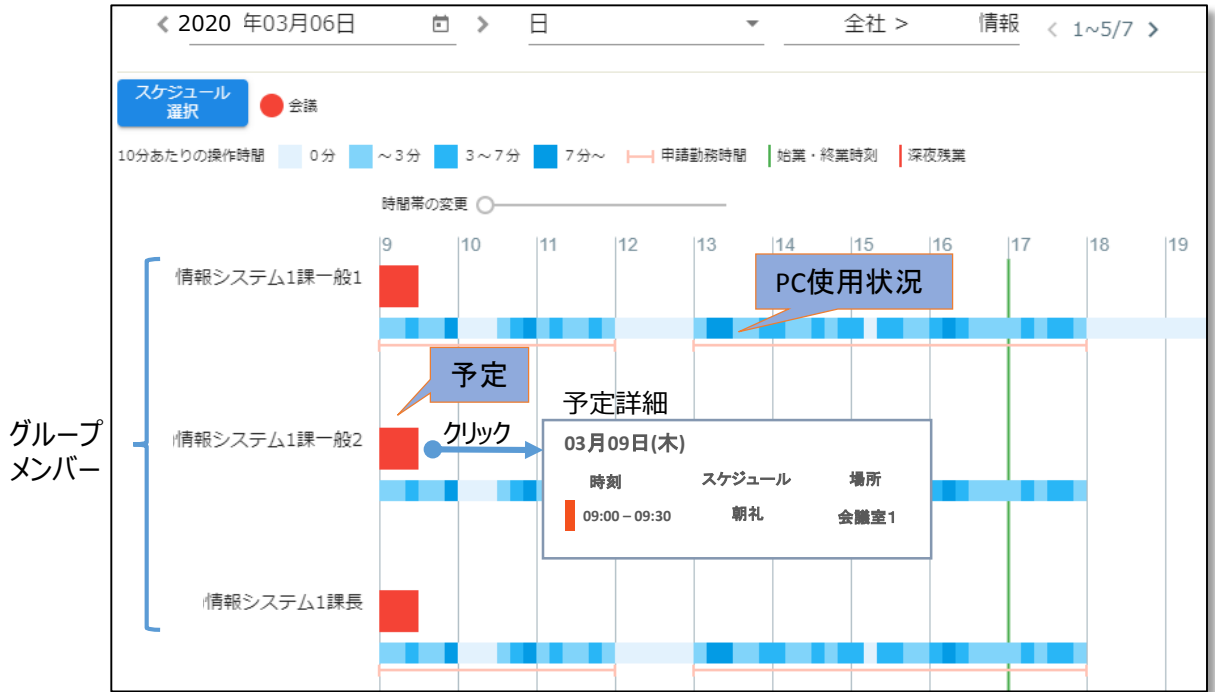
メールが
多いな...

- a. 業務の振り返り
- b. ムダへの気づき
- c. 日報作成の参考

SML 業務可視化サービス

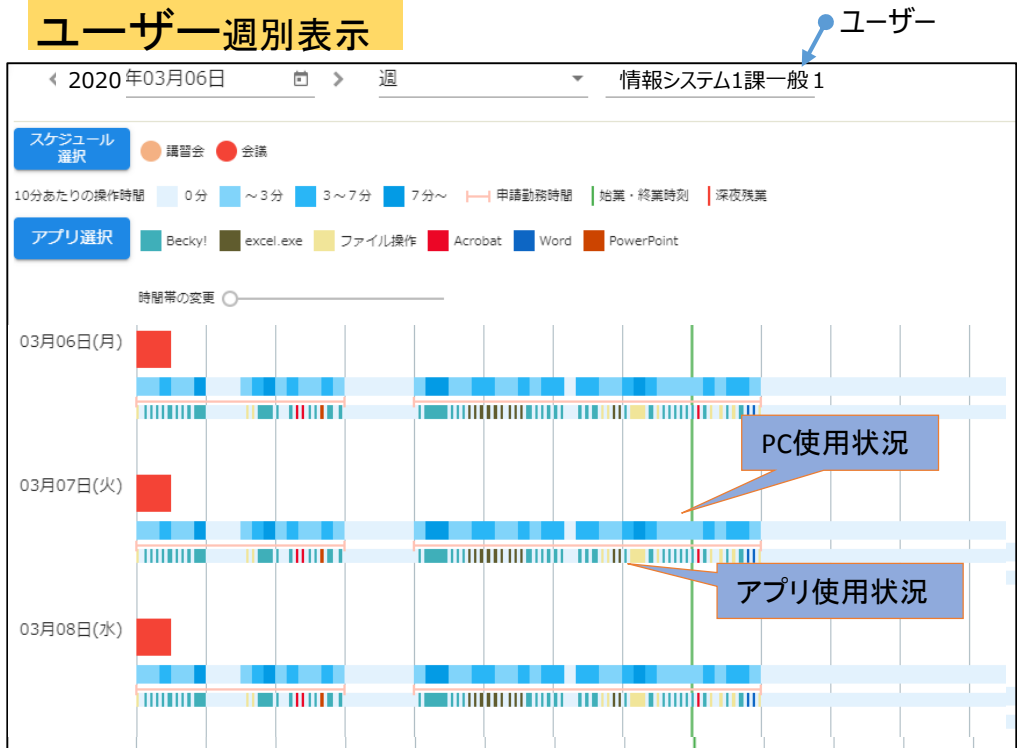
グループ、ユーザー毎に時間帯ごとのPC操作状況を把握できます。

グループ日別表示



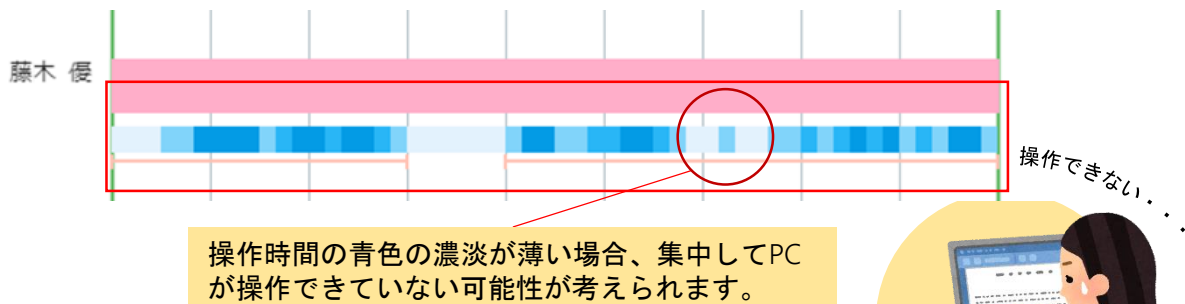
業務の割り振りや部下の管理など、部門長のマネジメント材料に使用できます

ユーザー週別表示

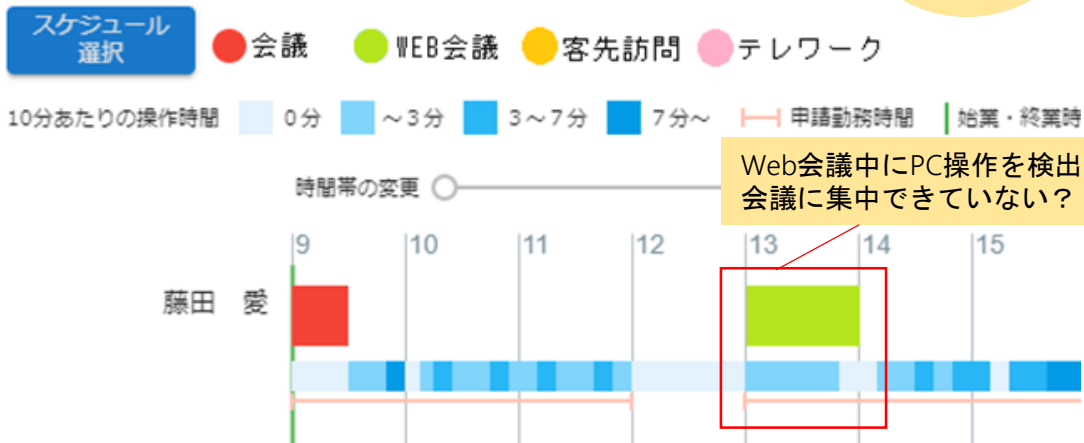


確認ポイント

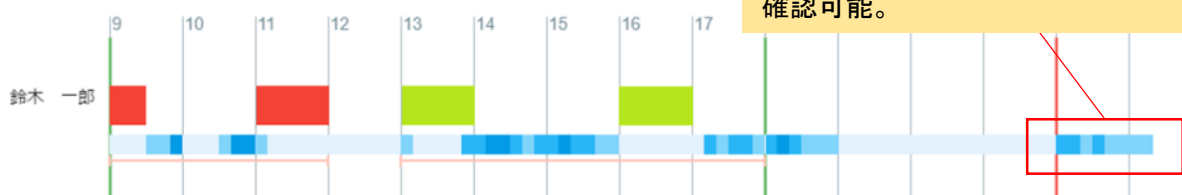
✓ 在宅勤務では集中して操作できているか？



✓ 会議に集中できているか？



✓ 把握していない深夜残業や休日操作がないか？



✓ オフラインでも操作ログは記録しており、インターネット接続でログをアップロードします。

労務管理

違法労働は無いか？
超過勤務、休日出勤

「申告と実績の状況」画面で超過勤務の有無を簡単に確認できます。

モチベーションは低下していないか？

「PC操作状況」画面で業務と関係無いサイトの閲覧が無いか確認ができます。

サービス残業、過重労働対策

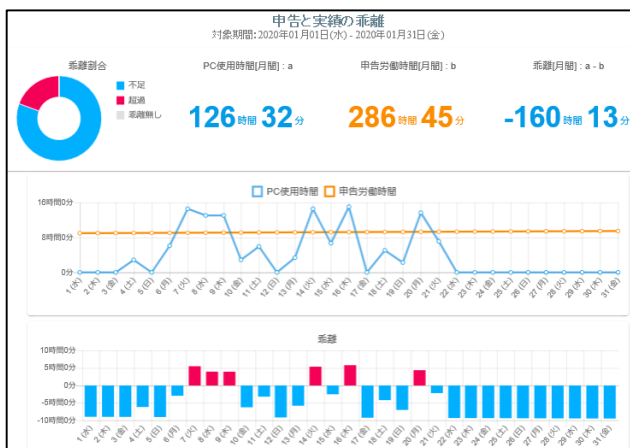
勤怠データとPC稼働時間の乖離確認



人事の視点

- ✓在宅勤務者は申告と実績の乖離がないか？
- ✓特定の部門に業務の負荷が集中していないか？
- ✓管理職の長時間労働はないか？

2019年4月からスタートした改正労働基準法により管理職の労働時間の把握が義務化。
社員の労働時間の適正化を図るため、部下の業務をフォローする管理職の超過労働が問題化しています。



対策

該当の社員とデータを見ながらヒアリングし、勤務実態との差異の原因を確認します。
作業負荷の偏りがあればフォローをします。

申告と実績の状況

確認ポイント



- ✓ 長時間労働をしている人の割合を確認します。

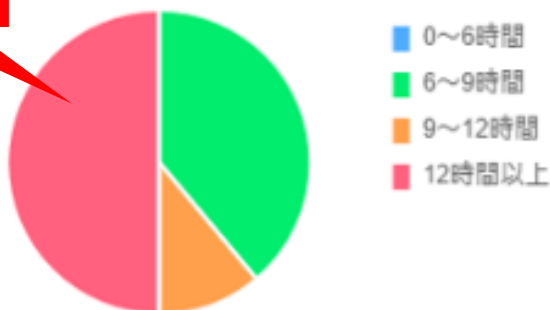


**長時間操作の
比率が高い**

長時間労働の割合が少ない場合、特定の担当者への作業負荷の偏りの可能性があります。

長時間労働の人数が多い場合、表示する部門の範囲を変えて、どの部門の労働時間が多いか確認します。

PC使用時間割合



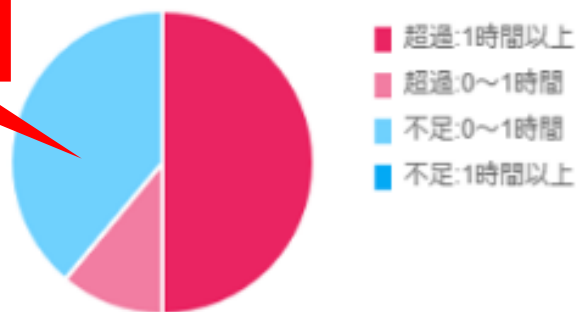
- ✓ 会社に申告している労働時間を超過している人が多いか確認をします。



**労働時間の
差異比率が高い**

申告時間との差異が多い場合、部門でのサービス残業が常態化している可能性があります。

労働時間差異割合



- ✓ PC操作の使用実績収集状況と勤務実績の収集状況に乖離はないか？

勤怠申請の申告漏れが無い、PCのログの取得漏れが無いかを人数比で確認をします。

労働申告率 $(b \div a)$

(a) PC使用時間
(b) 申告労働時間

100%